

令和4年度 柏市防災会議

令和4年度事業報告

計画の策定/修正

◆柏市地域防災計画の修正

【主な修正事項】

①上位計画修正に伴う修正

- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・盛土による災害の防止に向けた対応

②市の組織改編の反映

- ・上下水道局や健康医療部，福祉部について記載

③南海トラフ地震臨時情報発表時の対応について

- ・気象庁が発表を行う南海トラフ地震臨時情報に伴い，市の対応を記載

訓練等 ◆我孫子市・柏市共催水防演習

我孫子市と共催で，出水期に向け，水防要員の士気を鼓舞し，作業能力の向上を図るとともに，緊密なる連携の下に水防体制の万全を期することを目的に水防演習を実施。

1. **実施日** 令和4年6月11日(土)
2. **場 所** 我孫子市江蔵地地先利根川河川敷(利根川ゆうゆう公園内)
3. **参加者** 柏市，我孫子市の消防団員他総員約220名



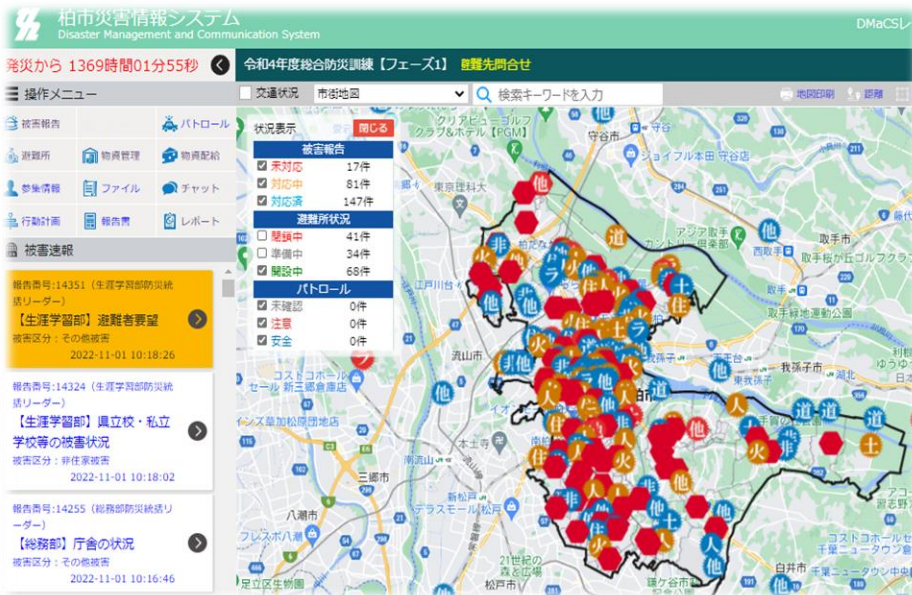
訓練等 ◆柏市総合防災訓練

大規模地震を想定し，柏市災害対策本部，救護本部，災害対策指揮本部の図上シミュレーション訓練を実施。次年度より導入予定の災害情報共有システムを用いて，発災時における各部局との連携について訓練を行い，市の防災能力の向上を図った。

1. 実施日 令和4年11月1日（火）
午前9時15分から午後2時15分
2. 場所 柏市役所本庁舎3階庁議室・302会議室
柏市消防局
3. 参加者 約190名
(災害情報共有システム活用による自席からの参加者含む)

訓練等

◆ 柏市総合防災訓練



◆ 災害情報共有システムとは…
地図や画像で危機事象を可視化共有し、迅速な意思決定や対策を可能とする庁内システム

訓練等

◆令和4年度地域住民訓練(講習会等含む)への職員派遣

- 4月 柏二小避難所運営委員会, サンライフ柏台町会
- 5月 南部ふるさと協議会, 新富町会, 松野台町会
- 6月 風早北部ふるさと協議会, 柏二小避難所運営委員会
- 7月 中新宿町会, 柏二小PTA, 増尾ふるさと協議会
- 8月 柏の葉ふるさと協議会, 光中避難所運営委員会



訓練等

◆令和4年度地域住民訓練(講習会等含む)への職員派遣

- 9月 永楽台町会, 西原中学校運営協議会,
コミュニケーションセンター, 豊小, 田中中,
社会福祉協議会
- 10月 仲町会, 藤ヶ谷区, 南部老人福祉センター,
吉野沢保育園, 増尾ふるさと協議会,
増尾西小学校避難所運営委員会
- 11月 逆井中, 沼南高校, 新田原ふるさと協議会,
風早北部ふるさと協議会, 酒井根東防災会,
ガールズスカウト千葉県第17団,
藤心ふるさと協議会, 高田小
- 12月 三小, 新富近隣センター

全35回

連携会議等 ◆柏駅周辺帰宅困難者対策ネットワーク会議

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、平時から柏駅周辺の関係機関と連携を図り、今後同規模程度の災害が発生した場合でも、円滑に対応できるような体制の確立を目指して、平成24年5月29日に設立。

【参加機関】

鉄道事業者：東日本旅客鉄道(株)柏駅，東武鉄道(株)柏駅

バス事業者：東武バスセントラル(株)運輸統括部イースト業務課，阪東自動車(株)

柏商工会議所

大規模集客施設：東神開発(株)千葉事業本部（柏高島屋ステーションモール），(株)高島屋柏店，(株)丸井柏店，柏駅前第一商業協同組合，柏プラザホテル，ザ・クレストホテル柏，相鉄フレッサイン千葉柏，東横INN柏駅西口，東横INN柏駅東口

行政機関：柏警察署，千葉県東葛飾地域振興事務所，柏市

【今年度の取り組み】

- ネットワーク会議・帰宅困難者対策図上訓練(令和5年2月2日)
- 千葉県主催帰宅困難者等対策訓練(令和5年2月)
- 受入施設拡大に向け企業訪問(東横INN柏駅東口)
- 前年度の入替分も含め，パレット柏に液体ミルク(360缶)を配備
- 夜間誘導用のアンブルボードを配備

連携会議等 ◆災害医療検討会

例年災害医療検討会で実施している救護本部訓練を、今年度は総合防災訓練内で実施

市内で震度5強が発生したとき等、保健福祉部長を本部長とし、柏市医師会長・同副会長・同救急災害担当理事を地域災害医療コーディネーターとする救護本部を設置する。救護本部では、「柏市医師会災害対応マニュアル」並びに「柏市救護本部マニュアル」に従い、医療活動の指揮統制及び救護本部の運営を行う。

■訓練概要

令和4年11月1日午前8時に柏市直下地震（M7.3）が発生したと仮定し、柏市救護本部にて、医療機関等の情報収集（被害状況、対応状況等）、医薬品・医療資機材等に関する情報収集、市災害対策本部へ応援要請及び調整、患者の市内搬送及び遠隔地搬送の調整、感染症対策を実施。



災害対応

◆令和4年8月13日台風8号接近に伴う対応

令和4年8月13日に台風の接近が予見されたことから、自主避難所（近隣センター20カ所）の開設及び注意配備体制を敷き、災害対応にあたった。

【警報等】

| | | |
|-------|--------|---------|
| 8月13日 | 10時00分 | 自主避難所開設 |
| | 12時34分 | 大雨注意報 |
| | 18時18分 | 竜巻注意情報 |
| | 21時00分 | 自主避難所閉鎖 |

◆その他の災害対応

気象警報発表に伴う警戒配備体制

6月 3日：洪水警報

9月 8日：大雨洪水警報

9月24日：大雨洪水警報

実施事業

1. 災害後72時間を乗り切る体制の構築 【①非常用蓄電池及びソーラーパネルの配備】

避難生活における停電時の電源を確保するため、避難所に可動式防災非常用蓄電池及びソーラーパネルを386台購入。令和3年度の先行配備を含め、全避難所109箇所（112施設）に4台ずつ配備完了。

【仕様】コンパクトポータブル電源 出力300W以上
電池容量 約400Wh

【配備完了】令和5年3月末



実施事業

1. 災害後72時間を乗り切る体制の構築 【②ペット同行避難のための初動グッズの配備】

ペット同行避難を受け入れるための備品を購入し、避難所へ配備。

【主な配備物資】

・ビニールシート ・遮光ネット ・手袋 ・バケツ ・ちりとり ・雑巾
・ペーパータオル ・塩素系漂白剤 ・ビニール ・テープ 等

【配備完了】令和5年3月末

実施事業

1. 災害後72時間を乗り切る体制の構築 【③非常用トイレの整備】

平成30年度に実施した被害想定調査に基づき、令和5年3月末までに発災3日後までのトイレ必要数約73万回分の非常用トイレの確保が完了見込み。マンホールトイレについては今後も下水道施設が整備されている小中学校に整備を進める。

【令和4年度整備概要】

| | |
|----------|----------------|
| マンホールトイレ | 19基 (14,250回分) |
| 便袋 | 57,600枚 |



実施事業

1. 災害後72時間を乗り切る体制の構築 【④生活用水の整備】

災害時における生活用水不足解消を目的とした手押し式の簡易井戸を設置。

【設置場所】

酒井根西小学校



実施事業

1. 災害後72時間を乗り切る体制の構築 【⑤大型防災備蓄倉庫の整備】

避難所で使用する新型コロナウイルス感染症対策物資及び防災物資を備蓄するため、防災備蓄倉庫を整備。

【設置場所】

柏255-23（市有地）

【設置面積等】

170㎡ 1階建て



実施事業

2. 避難所運営体制等の構築

【「避難所開設時のアクションカード」の公表】

災害時に迅速な避難所開設を可能とするため、開設部分に着目した手順書を作成し、柏市ホームページにて公表。

6 開設準備（避難所の安全確認）

1つでも☑がつけば、調査を終了する
☑が入れば災害対策本部へ連絡:04-7167-1115

一見して危険と判定される

避難所全体又は一部の崩落・落階がある



基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ



避難所全体又は一部に著しい傾斜がある



火災が発生している、ガス漏れしている

実施事業

3. 取り残されない避難体制の構築 【①個別避難計画策定モデル事業】

柏ビレジ自治会をモデルとして、風水害を想定した個別避難計画の作成及び運用に向けて、町会関係者や関係部局と協議を重ねている。



実施事業

3. 取り残されない避難体制の構築

【②避難所におけるペットの受入れ体制の構築】

過去の大規模災害時に、ペットとの避難を躊躇したことで被災した飼い主もいたことから、ペット受入れ体制の強化を図る。

【取組み】

- ・ ペット同行避難のための初動グッズ配備
- ・ 「ペット避難受け入れに関するガイドライン」の策定
- ・ 「災害時における避難所の清掃及び消毒に関する協定」を締結予定
- ・ ペット同伴避難の可能施設の選定

実施事業

4. その他の取組み事業

【①災害時応援協定の締結】

◆新光重機株式会社（令和4年7月1日）

災害時における資機材調達に関する協定書

◆まくら株式会社（令和4年7月12日）

災害時における物資等の供給に関する協定書

◆パウダーテック株式会社（令和4年11月29日）

災害時における施設等の利用に関する協定書

実施事業

4. その他の取組み事業

【②災害応援派遣】

- ◆派遣先
福島県相馬市
- ◆派遣期間
令和4年4月3日～4月17日
- ◆派遣人数
2名
- ◆業務内容
罹災証明書発行のための一次調査の応援
申請件数が8,282件，うち要調査件数4,766件
- ◆その他
応援派遣終了後，派遣職員による住家等被害調査及び罹災証明書発行業務講習会を本市職員を対象に開催し，体験や反省等の共有を行った。

5. その他の取組み事業

【③災害応援派遣】



全壊判定となった非木造建物



全国からの応援職員



屋根瓦がほぼ全て落ちた木造住家



倒壊した蔵